

## 視能訓練士

伊藤 浩太郎(いとう こうたろう) (写真左)

宮下 領介(みやした りょうすけ) (写真右)

視能訓練士とは、視機能検査と視能矯正のエキスパートです。主に[1]眼科一般分野の視機能検査、[2]眼科専門分野の訓練指導、[3]集団検診視機能スクリーニング、[4]視力低下者リハビリ指導などの業務を行います。二人は、視力検査、屈折検査、眼圧検査、視野検査をはじめとする様々な眼科検査を行うほか、以前は眼科医が行っていた眼底写真撮影や超音波検査といった専門的な知識を必要とする検査も行っており、医師の負担を減らす重要な役割を果たしています。正確な検査を行うためには、患者さんの協力が重要なので、普段から患者さんとのコミュニケーションを大切にし、親しみを感じてもらえるように心がけているとのこと。また、視力の悪い患者さんが多いため、介助の際には特に注意をはらっているほか、小さいお子さんが検査を受けられるときは、検査に集中してもらうために言葉づかいを変えるなど、細やかな気配りをしておられます。現在では、1日に100人を超える患者さんの検査をする日もあり、多忙ではありますが、視力が上がった患者さんが喜んでる姿を見た時、自分の名前を覚えてくれた時などにやりがいを感じるそうです。最後に「今は検査を中心に行っているが、弱視などの訓練をさらに

取り組んでいきたい」(伊藤視能訓練士)、「医師から指示がある前に自ら考えて検査を行うことができるようになりたい」(宮下視能訓練士)とそれぞれの意気込みを語ってくれました。

